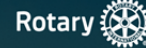




The Weekly Journal of
Tokyo Rinkai West Rotary Club

東京臨海西ロータリークラブ

第2580地区(東分區)



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために



クラブ会長ターゲット

「奉仕し成長しあえる仲間づくり」
"Making friends who can serve and grow together"

2021-2022年度
東京臨海西ロータリークラブ会長

西野 充英



国際ロータリーテーマ

「奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために」

"SERVE TO CHANGE LIVES"
2020-2021年度 国際ロータリー会長

シェカール・メータ

2021年12月18日[第79回]

創 立：2018年11月22日
会 長：西野 充英
副 会 長：大星 太郎
幹 事：三橋 晶裕
会報委員長：飯塚 正裕

12月18日の卓話

「クリスマス家族会」
「アトラクション」
ソロシンガー 坪倉唯子様

12月3日の出席率

会員在籍者数 38名
会員出席者数 28名
会員欠席者数 10名
本日の出席率 73.68%

1月7日の卓話

「新年初例会」
向島千代田 獅子舞

《2021-2022 年度 例会 第78回例会報》 2021年12月3日(金)東武ホテルレバント東京「錦の間」

司会:平井修二SAA委員長

■点鐘

東京臨海西RC 西野充英会長
東京臨海RC 佐藤大輔会長
東京臨海東RC 今西 勇会長
東京臨海北斗RSC 坂本康朋議長

■ソングリーダー：岩崎裕馬会員

■ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱



■「四つのテスト」唱和

■「ロータリーの目的」東京臨海西 RC Ver. 唱和



■来賓紹介：西野充英会長

- 東京臨海西ロータリークラブ 特別代表
東京臨海ロータリークラブ 齊藤 実様
- 東京臨海西ロータリークラブ 発起人代表
東京臨海ロータリークラブ 鈴木孝行様
- 今年度米山奨学生 オーチソムオン様
- NPO法人らいおんはーと
理事長 及川信之様
- NPO法人チャイボラ 代表理事 大山遥様

■卓話者紹介：西野充英会長

- 江戸川区児童相談所 (はあとポート)
援助課長 上坂かおり様

■ビジター紹介：間野勉会員

- 東京江東RC 会長 小嶋映治様
- 東京江東RC 幹事(ゴルフ幹事) 板倉健司様

■東京臨海西RC会長挨拶：西野充英会長

「今日は、当クラブ4周年の創立記念を親クラブであります東京臨海RC、兄弟クラブであります東京臨海東RC、そして東京臨海北斗RSCのみならずと合同例会で開催ということを感謝申し上げます。また各クラブのみならずから多大なるお祝いを頂きまして誠にありがとうございます。皆様のご支援

とご協力のおかげで、創立時、我々のクラブは 26 名でスタートしましたが、今日現在で 38 名となっております。奉仕活動の幅があるクラブになってきたなと思っております。

私のお話をさせていただきますと私が東京臨海 RC に入会させて頂いたのが、2017 年の 4 月でございます。高橋映治会長年度でございます。それから 4 年間あっという間に過ぎ去りましたが、入会当時はまさか自分が RC の会長になるとは夢にも思っておりません、今日みたいにたくさんの皆様の前でご挨拶をさせて頂くなど想像もできませんでした。私を導いて頂きました皆様、そして我々の兄貴分でもあります初代栗山パスト会長、ほんとに感謝しております。

本年度我々のクラブは、青少年奉仕としまして新しく活動を始めました。臨海西 RC 杯争奪第 1 回学童選抜軟式野球大会というのが江戸川区の臨海球場にて開催されます。もしお時間がありましたらみなさん少年野球の応援もよろしくお願ひします。それから親睦活動がコロナの関係でなかなかできなかったのですが、ずっと延期されておりました新入会員歓迎会を東京臨海東 RC 加藤会員の料亭千代田で開催することができました。加藤様、その節は大変お世話になりました。

別の親睦活動としてはじめて平井会員、改め釣り部長の平井さんの釣り大会も開催することができて、新没活動も新しく進める事ができました。

話は変わりますが物事を学ぶという守破離という考え方があると思ひます。「守」は守る、「破」は破れる、「離」は離れると言ひますけれども、現在我々のクラブは 3 年間、「守」つまり守るを実践しておりました。親クラブであります東京臨海 RC の例会の進行、行事、発行物まで、親クラブからたくさんの勉強をさせて頂きました。特に創立時にはたくさんの資料提供やレクチャーも頂き本当に感謝しております。「守」を実践したことていろんなアイデアや疑問点なども多く発見できました。次年度よりは「破」、つまり、いろんな創意工夫をして変化していく年として考えておりますので、引き続き親クラブ、兄弟クラブの皆様ともに臨海 4 R 軍団として、ロータリ

アンとして、奉仕し成長し合いながら進んでいくことを皆様の前でお誓ひを申し上げ、私のご挨拶とさせて頂きます、本日は誠にありがとうございました。」



■来賓祝辞

- 東京臨海西ロータリークラブ 特別代表
東京臨海ロータリークラブ 齊藤実様
- 東京臨海西ロータリークラブ 発起人代表
東京臨海ロータリークラブ 鈴木孝行様

「東京臨海西 RC 創立 4 周年記念例会おめでとうございます。今日は親クラブでもあります東京臨海 RC、年の離れたお兄さんクラブであります東京臨



海東 RC、そして東京臨海北斗 RSC の 4 クラブの合同例会です。まさに壮観でございます。先週ガバナー公式訪問がありました。80 人近い例会にガバナーもビックリしてました。参加者で記念写真を撮るときも、写真室に入りきれぬのかということで大変心配してました。カメラも通路の廊下から撮るような盛大な例会でございました。その日、臨海軍団という話がありました。大きなひとつの塊として大きな期待を寄せておりました。何かをしてくれるだろうという感想も述べておりました。そして、次年度は東京臨海東 RC は栃木ガバナー年度の地区協議会のポストを受けることになってます。これは地区大会と同じくらい大変な事業であり作業がかかります。5 年前親クラブであります我々臨海 RC が、新宿のセンチュリーハイアットホテルでやりました。その時参加した人は知っていると思ひますが、それなりの人数が必要になります。ですから我々臨海軍団がみんなして力を合わせて協力し、応援して欲しいと思ひます。臨海西 RC は着実に力をつけております。来月、新入会員の歓迎会があると聞いています。もうすぐ 40 名のクラブになります。本当に楽しみなよいクラブです。本日ご列席のみなさま方のご健勝とご多幸を心から祈念致しまして簡単ではございますが、お祝ひの言葉に代えさせて頂きます。本日はおめでとうございます。」

■乾杯：東京臨海西 RC 飯塚憲貴直前会長

「臨海軍団のみなさま。いつもご協力、仲良くさせて頂きまして誠にありがとうございます。こうやって 100 人を超えるロータリアンが集まるとこれだけいい雰囲気になるんだと思ひます。ぜひ、これから 10 周年、20 周年



とみなさんと引き続き永くお付き合いさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。それでは今日ご参加の皆様のご健勝とご多幸を祈りまして乾杯とさせていただきます。乾杯。」

■会長報告・スピーチ：西野充英会長

●クラブ基金感謝状（二瓶恵一会員）

●オーチソムオンさん奨学金お渡し&一言

「ひとつめは、実験を進めながら次の論文を作成しております。二つ目は、修士課程が終わりましたら、博士課程に行くことです。研究は今やっていることと同じことをやっていきます。」



●ガバナーノミニージェシグネット候補者について

■幹事報告：三橋晶幹事

●【共通事項】12月のロータリーレートは1ドル114円です

●【共通事項】ロータリーの友・ガバナー月信12月号をメールBOXに配布しました

●【共通事項】ガバナーメッセージ12月号も本メールしています

●本日、例会終了後理事役員会を行いますので、理事役員の方3階「蓬莱の間B」にお集まりください

●次回12/18（土）クリスマス家族会です
12：00～14：00 東武レバントホテル4階「錦の間」本日12/3までが出欠の期限となっております。まだの方は受付にてお返事ください



■出席状況報告：橋豊和会員

⇒詳細1頁バナー下の出席状況報告欄にて

■ニコニコBOX報告：岸哲也会員

(ご意向)9/27 東分区分ゴルフ大会のカップをお持ちしました：
小嶋映治様・板倉健司様（東京江東RC）

(ご意向)本日は創立記念例会おめでとうございます。臨海軍団の更なる発展よろしくお願います：東京臨海RC三役

(ご意向)本日は東京臨海西ロータリークラブ創立4周年記念例会、そして4クラブ合同例会おめでとうございます御座います：齊藤実様（東京臨海RC・当クラブ特別代表）

(ご意向)本日は4周年記念例会おめでとうございます：須藤宗之助様（東京臨海RC）

(ご意向)本日は4周年記念例会おめでとうございます：坂本康朋様（東京臨海RC）

(ご意向)こんにちは、本日もよろしくお願い致します：東京臨海東RC三役

(ご意向)創立4周年記念例会おめでとうございます：羽鳥貞雄様（東京臨海東RC）

(ご意向)本日は当クラブの創立4周年記念合同例会にご参加いただき、ありがとうございます！これからもご指導よろしくお願います：当クラブ三役

(ご意向)お陰様で創立4周年を迎えることができました。皆様ありがとうございます。上坂様卓話楽しみにしております。よろしくお願い致します：栗山会員

(ご意向)臨海RC、臨海東RCのみなさん今日は合同例会よろしくお願いたします
：飯塚憲貴会員

(ご意向)平井会員、事業再構築補助金、採択されました！ありがとうございます：清水会員

(ご意向)西野会長、栗山パスト会長、油井会員、大西洋平会員先日はお心遣いを頂き誠にありがとうございました。ロータリアンとして頑張っていきますので、これからもよろしくお願い致します。本日は合同例会です。盛り上がっていきましょう！！：岩崎会員

(ご意向)4周年記念例会よろしくお願いたします
：島崎会員

(ご意向)合同例会、よろしくお願い致します。岡田さん、金森さん、お仕事ありがとうございます！：石田会員

(ご意向)創立4周年おめでとう：油井会員

大西会員、伊藤会員、佐藤会員、橋会員、岸会員
二瓶会員、高橋会員、平井会員、米井会員
本島会員、北林会員、継岩会員、菅会員、雪丸会員
岡田会員、飯塚正裕会員、岩本会員

*東京臨海RC様・東京臨海東RC様よりお祝金を頂戴しました

【28件 154,000円 今年度累計 1,315,000円】



地区ゴルフ大会トロフィー授与



ビジター紹介
佐藤太基会員



出席状況報告
橋豊和会員



ニコニコ BOX 報告
清水孝弘会員



司会
平井修二会員

■記念品贈呈：西野充英会長

- 一般社団法人パラボールリーグ協会
理事長 栗山義広様



- NPO法人らいおんはーと
理事長 及川信之様



- NPO法人チャイボラ 代表理事 大山遥様



- 一般財団法人比国育英会バギオ基金
副会長 齊藤実様



■卓話者の紹介：大星太郎副会長

「本日の卓話者は江戸川区児童相談所はあとポートの援助課長を務めていらっしゃいます、上坂かおり様です。我々臨海西ロータリークラブは3年くらい前から、NPO チャイボラさんの支援をさせて頂いております。チャイボラさんは児童養護施設を支援している団体で、主にそこで働く職員の人材不足を解決するために活動している団体です。

我々もお金出すだけでなく、現場の方も見た方がいいだろうと、先月上坂課長の協力を得まして、江戸川区児童相談所と児童養護施設の見学に15名に行ってもらいました。大変立派な施設で勉強になったんですが、本当に想像以上にいろいろな問題を抱えているということが分かりましたので、今日はもう少し詳しく上坂課長からお話をいただきたいと思ひしてお招きしました。」



■本日の卓話 「江戸川区児童相談所について」

江戸川区児童相談所（はあとポート）
援助課長 上坂かおり様

「今日は本当にこの大切なお時間を児童相談所のお話に割いて頂きまして、本当にありがたく思っています。私たちの児童相談所についてもっと知って頂くことが、児童虐待防止の一つの引き金になるかなと思っていますので、ぜひ今日いろいろ聞いて頂いてご理解頂ければと思っております。よろしくお願致します。」

まず私の自己紹介から少しさせていただきます。私、江戸川区児童相談所で援助課長をしています。私が拝命させていただいたのが、昨年の4月1日に児童相談所の開設と合わせて、この部署に異動させていただきました。それまでは区役所に25年ほどになりますが、子ども関係部署を様々回らせて頂いて、昨年4月よりこの部署に来させて頂いております。併せて、仕事をしながら子どもを3人育ててまいりましたので、そういった経験が今の仕事にも役立っているなど改めて感じるところです。



施設概要

先日西野会長を含め皆さんにご見学に来て頂きました児童相談所、中央3丁目にございます。昨年の4月に建った児童相談所です。最近、港区であるとか、それから中野区もどんどん児童相談所設置していく中にはありますけれども、児童相談所のみでの建物ではなくて皆さん複合施設が多い中、やはり江戸川区は児童相談所のみでこれだけの建物を建てたというところでは、やはり江戸川区の思いというのがここに詰まってるかなと思います。もしお時間等あるときがありましたら、また見学にお越し頂ければと思います。積極的に開かれた児相を目指しておりますので、様々な方に見て頂いて、ご理解頂ければと思っております。



児童相談所開設の道のり

次に児童相談所開設の道のりについてお話をさせていただきます。児童相談所、法律が改正したので建てたというよりは、江戸川区には本当に熱い思いがあって児童相談所を建てさせて頂いております。それが2010年になります、小学校1年生の男児の虐待死事件であります。もう10年以上前にはなりますが、当時虐待の事実を児童相談所と子ども家庭支援センター、学校、医療機関、全てが把握しながら誰も積極的に動かなかった。それによって支援のすき間に落ちてしまっただけで当時養父に虐待をされて亡くなってしまった、この事件がありました。

今ほど虐待はそれほどニュースで騒がれている時代ではなかった中で、ほんとにそのときには江戸川区は非難にさらされたような状況でした。こちらの児童相談所開設してから多田前区長の元に訪問させて頂いてますけれども、やっぱりあのときは本当につらかったと区長がお話しになっていた通り、それから区としては、大切な子どもの事業を都に任せてはいけない、区でやってくんだと強い思いを持って、児童相談所を区にと動きが始まったところです。

当時はまだ全く形もなかった中で、多田区長をはじめ国に働き掛け、東京都に働き掛け、本当に積極的に動いて頂き、平成28年、2018年、児童福祉法が改正になりまして、それに伴って特別区でも児童相談所が設置が可能になりました。そこで一番手を挙げたのが江戸川区です。どこよりも先に児童相談所をつくるんだ、そういう思いでこの児童相談所開設に至ったというところがあります。

なので、ほんとにこの昨年4月にできた児童相談所は、いわゆる悲願の児童相談所ということで、地域の方にも議会の方にも評価頂いて開設をさせて頂いたというような状況です。

虐待通告等の流れ

続いて虐待対応の流れですが、児童相談所では子どもに関する様々な相談を受けています。江戸川区の児童相談所は子ども家庭支援センター機能も内包しています。ほんとに様々な相談を受けてますが、親に児童相談所は怖いイメージとか、どんなことをしてるとか大変なイメージみたいなのがありながら、中々どういう流れをされてるのかはお分りになってないかなと思っていて、この一番代表的な虐待通告の流れを説明をさせて頂ければと思います。

まず、どんな形で虐待を受けるのかなというところで見て頂くと、学校から子どもが「お母さんにたたかれた」と、例えば連絡が児童相談所に入ります。そうすると児童相談所の方の職員でいろいろ状況をお聞きするんですけども、その中ですぐに、まず子どもに話を聞きに行きたいので、昼休み、場所などを用意してくれますかと学校とお話をするような状況です。

その後、「調査」という形に入りますが、そこでただ普通に聞くのではなく、住所であったり、世帯構成、保健情報、兄妹とか通院状況、警察の状況というのを、これは至急調査を始めます。その調査結果を受けて、今度は「緊急受理会議」というのを開催します。ここでは所長をはじめ管理職がいる中で、こういった通告が来たのでどういう方針でやるかを判断する会議をします。

それを受けて、「初動」ということですぐに職員が学校に行きます。心配だから話を聞きに来たというお話します。大体他の子どもたちにばれないように、昼休みみんなが遊んでるときに他のお部

屋を案内したり、そういった配慮をしながら話を聞くようにします。

その中で、例えばおうちに帰るのが怖いとか、ちょっと傷痕がひどい、そういった状況になりますと、そこから「一時保護」という形になります。でも、子どもにはできるだけ、嫌がってる子は連れてくのは難しい中で、安全性が必要なときにはよく話を理解した上で、安心できる場所でちょっとお泊まりしようかというお話をして、一時保護をさせて頂きます。



さらに、今度は一時保護の入所となりますけれど、一時保護所でのルールや、一時保護所はこういうところだよという説明をした上で入所という形になります。

さらにその後、大体、午後通告等入ることが多いんですが、その後保護者に連絡を差し上げる形になります。ここが一番児童福祉司が緊張するところです。家に帰ってくるはずだった子どもが帰ってこない、児童相談所から電話が来るとなると、大体保護者は緊張します。私たちもそこがすごく緊張するところです。そこで「不適切な養育が見受けられる疑いがあるので、子どもさんを一時保護させて頂きました」というお話をします。

その中で、大体その日のうちに面会を設定します。午後でその子どもさんを連れてきて、夜電話をして、大体夜6時とか7時ぐらいから保護者との面接が始まります。必ず親御さんが言うのは「子どもをすぐに帰してください」「私はやってません」「しつけの一環でやったんです」そういった方が多いです。

こちらまだまだ若い職員が多いですから、ここで机をたたいたりとか、どう喝されたりという中で保護者に事情を説明して、子どもさんのことを一緒に考えていこうかというお話をして。納得頂けない場合には、家庭裁判所での裁判になるケースも多いです。

その後、保護した後どうなるかといいますと、「社会調査」というのをさせて頂きます。当然家庭訪問もしますし、その中でさらに、家庭だけで養育することで虐待が起きてしまうということであれば、親族の調査もさせて頂きます。あとは保護者向けのプログラムがあります。たたかない子育てをするためにどうするかといった保護者プログラムを案内して参加してもらったりします。そういう風に調整

をすることで、安全に家庭に帰れる方法を模索します。



次に、子どもさんをただ預るのではなく、一時保護所というところで「行動観察」をしています。というのも大体、どうしても怒りたくなってしまいう子どもって、子どもにも特性があることが多いです。発達に特性があったり、友達との距離感が難しかったりというのがありますので、行動観察というのをしています。

生活習慣が整ってるか、これは小さい子に多いんですけども、ネグレクトの子どもってというのは大体、話し掛けられたり世話をされてなかったってことで虫歯だらけであったりとか、大きいのおむつを着けたまんまであったり、そういったところからネグレクトの状況が把握できますので、そういった行動観察をしますし、併せて友達との関係、友人との関係とか関わりを見ながら、親御さんがこの子であればかなり養育が難しかったらろうということも、この行動観察の中で把握をします。

さらにその中で心理士による面接もさせて頂いています。この心理士が面接するのは大体 IQ を見させて頂いたりとか、あとは虐待を受けたトラウマの指数、どのぐらいトラウマを受けてるかなといったのを心理テストなどで把握します。それによって虐待による子どもの傷つき状態を見るような形です。その傷つき状態を見ながら、今度はこの子はおうちに帰れるのだろうか、施設の方がいいのだろうか、里親さんがいいのか、そういったのを考えていきます。

さらに「医学診断」といまして、児童精神科医の先生から来所して頂いてますので、その先生にも診てもらいます。その中で、医学的に親からの虐待による PTSD 症状がないかといった診察も受けたり、発達障害を持ってるのに医療受診をしてなかった、そういったときにはお医者さんの見立てもしてもらったりします。保護者の方と今度は面接を繰り返しますが、そういったまとまった情報を返します。「この子はこういった特性があるお子さんです」と言ってもなかなか理解が難しいので、絵で見せたりするといいですよとか、耳で聞くと難しいのであれば視覚的に訴えた方がいいですよ、そうすることで子育てはできますよとか、あとは様々な支援サー

ビスを紹介しします。おうちに帰ったときにはこういうサービスいかがですかという話をします。

さらには、その後家庭に帰る子は学校での関わりというのもありますので、関係諸機関でみんな集まって、これからの支援であるとか、情報共有などに努める会議もします。大体その期間でおおむね2カ月ほどかかって、そういった対応をさせて頂けるような状況です。



その後家庭に帰れるお子さんに関しましては、「家庭復帰」という形になってます。一時保護して入所に至るのは大体30%ぐらいですので、残りの70%の子はおうちに帰っていきます。家庭で再発しないことが大切なので、その中で「通所支援」を繰り返ししていきます。家での生活どうですかとか、プログラムの成果どうですかとか、心理士が面接して子どもの変化、また家に帰って暴力振るわれないか、そういったのを確認しまして、概ねそこで3カ月～6カ月支援をしまして、そして最終的に安定して子どもが暮らせてるねというところで、支援を終了するような状況になっています。



家庭復帰ができない場合

子どもさんによっては、やっぱりこの保護者に会っては危険だということで、家庭復帰ができない場合というのはあります。先ほど話もありました施設入所ということでありますので、そういったときは大体保護者が養育困難といって自分の病気で養育ができないときに治療が進んでない場合には、なかなかおうちに帰せません。あとは保護者が一切改善がないと、叩くことの何がいけないんだというような場合には、やっぱり子どもの安全確保できません

ので帰すことができません。あとは経済的状況が確保できてない場合は、児童養護施設であるとか、里親ですね、そういったところをご案内をさせて頂いています。

その次には、じゃあ今後入った、いわゆる家庭に帰れない子がどうしているかというところは、0歳～2歳の子は乳児院に行く形が多いです。最近では若年の出産であるとか、全く検診未受診による出産ケースも多く、0歳0カ月での保護というのも非常に多いです。やっぱりとても弱い存在ですので、安全性を確保して保護するというのが多いです。

その後2歳～18歳のお子さんに関しては、児童養護施設であったり、里親、ファミリーホームを活用しています。皆さんできる限り里親さんだとかファミリーホームがいいのですが、なかなか数が足りていないというのが現実でありまして、多くの子は児童養護施設に行くような形になります。

その後18歳で高校を卒業して家庭に帰る子もいますし、その後1人暮らしになる子もいます。あとは延長ということで、措置延長で今22歳までいることも可能ですので、施設で暮らしていきたいという子に関しては22歳までいることが可能になっています。なかなか勉強が得意でなかったりとかって、大学に行ったりしないといことができないので、進学が難しいということで18歳で出てしまうという子たちが中には多いんですけども、実はそういう子たちというのが、いきなり社会に出されてしまってほんとに生活が不安定になる現状が多く見られています。

今もケアリーヴァーという言い方で施設退所後の子たちの課題っていうのが出てますけど、児童養護施設等で育ってきた子って守られて育っているので、社会に出されてしまったときに頼れる大人もいない、保護者もいない、なかなか施設に弱音も吐けない、そういった中で1人でいろんな間違っ契約してしまったり、生活に困ったりっていうので生きづらさを抱えてる子が多いのが、最近現状としてあります。



江戸川区児童相談所の相談受付状況

児童相談所ではどのぐらいの相談を受けてるかというでお話をさせて頂きます。

年間の相談の件数は5,216件。これは虐待だけではなく、様々な子育ての相談を含めた受けてる件数です。さらに虐待の通告件数は2,042件です。去年1年間に2,042件受けました。1児童相談所で受ける虐待件数としては、全国で10番に入っています。300ほど児童相談所ございますけれども、その中でもほんとに高い水準の虐待通告を受けているというのが現状です。

続いて年間の一時保護、先ほど見た一時保護した件数は343件です。これも23区でほんとに多いです。東京都内でも多いのが江戸川区の特徴です。あとは施設等で暮らしている子、里親も含めてその子の人数は、3月31日現在ですが354名います。東京都全体で3,900人と言われている中の、江戸川区で354人ですので、どう見ても比率的に高いというのは皆さん想像つくかなと思いますが、それだけ江戸川の置かれている現状というのが厳しいのが分かるかなと思います。

次に施設入所後家庭復帰する子の割合、35%になっています。65%の子は家に帰ることがなく、そういった環境の中で暮らしているというのが現状です。さらに、大学、専門学校進学率に関しては約27%で、今は様々な制度があるので大学に行きたいと言えば行くことは可能なんですけれども、そこに至るまでの経緯というのが実はほんとに難しく、大学進学したとしてもかなり生きづらさを抱えていると考えると、やはりまず進学しているっていうことに持っていくことっていうのが、私たちの課題なのかなとも思っています。

江戸川区児童相談所の体制

児童相談所で先ほどの相談などの年間2,000件ぐらいやっていて、中でどんな体制なんだろうっていうときに、職員は183名でやっています。そのうち、私がいます援助課は103名の職員が日常的に動いています。日々虐待の対応、今まで関わっている子、施設に入所してる子、子育て相談、あとは障害に関する相談、そういったのを受けています。

予算は児童相談所全体で約50億円です。そのうち32億円が施設入所してる子たちの費用です。入所する費用って大体子ども1人につき1,000万円ぐらい年間かかります。多ければ多いほど、やはりそこは予算的な負担にもなりますが、それだけ必要な子のための予算ということで区長含め皆さんの同意を頂いているような状況です。

あとは、江戸川区における社会的養護の状況を書かせて頂いています。乳児院が、篠崎にわんぱく乳児院というのが1カ所あります。定員36名です。児童養護施設は江戸川2丁目につむぎの家という、今年4月1日にオープンしました、定員24名があります。養育里親、通常の特別養子の里親さんではなく養育里親は29家庭になっています。

その後続いてますが、里親も、大規模なファミリー一型というファミリーホーム、これはまだ0です。

自立援助ホーム、こちらはまだ区内にはありません。障害児入所施設も0ですし、児童心理治療施設、これは東京都内にもまだ全くないと。心の傷を負った子が生活していくところですけどもそこもないというところで、他の国はファミリーホームや自立援助ホームが当たり前にある中で、またこんなに虐待の子たちがいる中で、これらの施設がないというのが江戸川の現状です。

傷ついた子どもたちに何が起きているか

ここから、傷ついた子どもに何が起きているかというところで書かせて頂いております。ここをお話しさせて頂く前に、愛着形成についてお話をさせてもらいます。

愛着ってご存じの方もいると思いますが、生まれて0歳、大体6カ月～2歳ぐらいまでの間に子どもとお母さんとの間に築かれる愛着形成というのがあります。そこは人間の生きていく基盤になっていく大切なことです。具体的には、泣いたときにおむつを替えてくれる、ミルクを与えてくれる、困ったとき転んだときに抱き締めてくれる、大丈夫？ってさすってくれる、声を掛けてくれる。

そういった関係の中で、愛着っていうのが初めて形成されるのですが、実はこの幼少期にお母さんが疾患を抱えていたり、あとは夫婦げんかが絶えなかったり、お母さんの養育能力が低かったり、そういったことが要因で愛着が形成できずに大きくなっていく子ども達っていうのが、後々の問題行動に繋がってるというのが明らかになっています。なのでやっぱり、言うことを聞かないと叩く、思い通りにならないとこの子は大変だといって、そもそもの地盤にやっぱりその愛着形成っていうのがあります。

虐待受ける多くの子たちは問題行動も多いですけれども、愛着ベースができていない子達がたくさんいます。そういった子達は、大切に思われる経験っていうのがないんです。なので、人のことを思いやることを自分が思われたことないので、なかなかそれを人に対してすることが難しいっていうのが現実としてあります。

また、保護者や大人によって傷つけられてしまった心は、何か薬で治療というのは難しく、それを癒やせるのは人でしかないというのがあります。そこは愛着の形成のし直しもそうですし、心理教育というのが非常に重要になってきます。



次「頑張れるエンジン」って書かせて頂いてますが、こういった愛着関係がきちんと育った中ですくすくと育って行く子は、何か苦難があっても立ち直ることができます。やりたいと思ったら頑張れる力あるんですけど、実はそういった経験がない子は頑張ることできないんですよ。というのも、褒められたこともないですし、頑張るが何なのか、達成感みたいな味わったことがないので。

今よく言われるのが「いや、環境は整ってるだろう」、「勉強すれば大学に行けるんだから」とか「勉強して頑張れば」って言うんですけど、そもそも頑張る力がないのに頑張れっていうのがほんとにしんどくて、この子達は、自分では気づいてないでしょうけども、そこがほんとに苦難だなというところで思っています。それこそ、環境が整っても満たされないものっていうのは、心の奥底に心の繋がりととかそういったのを求めながらも満たされないっていうところが、いつも問題行動に繋がったりとか生きづらさに繋がってるのかなと思います。



さらに「希薄化する社会の中での生きづらさ」ということで。昔はこういった子がいたときに、しつこく世話をしてくれる方っていたんですよ。ただ、今はあんまり言って迷惑がられたとか、何か嫌がられたっていうところで、なかなかしつこくやってくださる方ってほんとに少なくなっちゃったなっていうときに、あそこの子はほんとにしょうがないねというので終わってしまうっていうのが。それでもしつこく面倒を見てくれたり、例えばご飯食べさせてくれたりとか、世話をしてくれる人、そういう人たちがいなくなっちゃったっていうのが、さらにこの子たちを希薄化してしまう社会の中に放り投げちゃうのかなと思っています。

「寂しさを満たすために」というところで、やはりこういう子どもたちは寂しさをいつも抱えてますので、その中でゲーム依存に入ったりとか、ネット依存に入っていきます。先日の保護した子はSNSで出会った男性と会うために新宿に行って保護されたりっていうのありましたが、「ネット社会の人はみんな優しい」と、「私の居場所はここだと思

う。それは分かりますか」と。「こんないい世界ないんですよ」というのを私たちに訴えます。やはり彼女には、家には居場所がなく、学校にも居場所がなく、優しく声を掛けてくれるネットの存在が重要でそこに依存していったというのがあります。

同様にして、年を重ねていくと異性に依存していったり、性に依存していったり、そういったところは、自分の満たされなかったその寂しさをどこか満たそうということで、一生懸命もがき苦しんでいる様子なのかなと思っています。



直面している課題

そんな中で直面してる課題を少し書かせて頂いています。やっぱり、先ほど言いました親子の愛着の不全のところ、あとは育児負担っていうのも非常に大きいです。親御さんは子どもの評価は自分の評価だと思っています。なので、子どもが評価されないことは自分を非難されてると思いますから、非難されない子どもにするために厳しく枠にはめようとしていってしまいます。

養育能力が低だけじゃなくて教育虐待も多いですから、このぐらい勉強できなきゃ駄目だ、このぐらい取らないと駄目だというところで、自分の枠にはめようとするので、ほんとに子どもが苦しくなってる。それはやっぱり社会の受け入れの体制にもあるのかなと思っています。

あと、今話題になってますヤングケアラーという話が出てますけれども、ひとり親家庭とか精神疾患を抱えた保護者、そういった保護者を抱えたお子さんっていうのは、実はお母さんが心配でしようがないんですよ。このまんま僕が学校に行ったら、お母さんはその間に死んじゃうんじゃないかとか。ここが具合悪いのは自分のせいなんじゃないか、そういう風に本能的に思っている子どもたちは多いです。なので、そういう子どもたちに「あなたが悪いんじゃないよ」ということを私たちは関わりの中で言いますし、そこら辺を解消しないと次へのステップには行けないのかなと思っています。

あとは傷ついた子どもの心の心理ケアで、虐待で傷ついてしまった心の傷を大人になる前に治療し

てあげたいと、心理士が積極的に関わろうとしています。家庭の中でも関わりながらそういったのができないかと心理的ケアを行っています。



若年の妊娠、住まい、就労について

なかなか高校に行けたけれどもなじめない、そういったところで若年の妊娠であるとかっていうのは、江戸川区内はほんとに多いです。一般には非行という言い方になってしまいますけれども、そういった子どもたちが多く、そこは大体異性に依存していつてっていうのがあります。

児童養護施設も大体そういう子は受けてくれませんので、そういった子たちが、じゃあどうしてこういったときに、当然アパートは借りることができません。里親さんも「そんな大変な子は預かれませぬ」と言います。ほんとに行く先に困ります。見守られるような住まいがあればとか、例えば住み込みの就労とかがあれば、そういったところに紹介したケースも何件かあります。ほんとにこういったところの子どもたち、今までいわゆる犠牲者だった子どもたちがこの年になって苦勞するっていうのを、私たちも見てるのがほんとに苦しいなと思っています。

あとは、先ほど言いました施設等を退所した後の子どもたちの自立ですね。大学に行って解決するわけじゃありませんし、就職してもなかなか定職に就けないっていう子どもたちも多い中で、そういったところが課題になっています。



皆さんにお願いしたいこと

最後にちょっと皆さんにお願いしたいことを、厚かましくも書かせて頂いています。今、私が話させて頂いたのは、ほんとうに対症療法にすぎないと思っています。大事なのは未然に防いでくことだと思っています。

今日もいらっしゃってます及川さんのらいおんは一とのようなところで、子どもを常に見守ってくれる地域の活動、子どもの活動、なんでもない活動でいいので、そこに来る子どもたちを見守ってくれる、そうするだけでおそらく家庭の気持ちが楽になったりとか、子どもがこないいいおじちゃんいるんだ、おばちゃんいるんだみたいところで、そこに支えられながら生きていける子どもたちがいるのかなっていうのを思っています。

あとは、これはもう皆さんに対してというよりは、社会がまだまだ偏見がすごく多いです。問題の子どもは親の養育が悪いんだというところで、そういう風に見られてしまう。それよりも、発達に特性のある子は元々生まれ持った特性があったりするので、そのいいところも必ずあるので、そこを伸ばしてもらいたいっていうのを思っています。

いろんな子どもがいていいと思うので、そういったところも、偏見じゃなくてその子がどうしてこういうことをしたのかなというのを、「寄り添いの視点」的なところでぜひ見て頂いて、それを周りの人にも周知して頂きたいと。そういう目が多くなれば、救われる子どもたちは多いのかなと思っています。

あとは、社会的養護の環境作りですね。ぜひ里親の登録であるとか、今、週末里親という週末だけ預かる里親制度もあります。あとは、可能であれば施設整備へのご協力などを頂ければと思っています。

あとは、社会的養護出身の子どもたちを支えてくださいというところで、いろんな会社を経営されている方が多い中で、可能であればこういった子どもたちの雇用っていうのも携わって頂きながら、常に面倒を気長に見てもらいたいです。1~2回逃げちゃうかもしれませんが、休んじやうかもしれないですけど、根気よく声掛けをして頂くことで、その子どもたちが変わるのかなと思っています。

先ほど、愛着形成のところ、幼少期の関わりっていうお話しましたが、最近その愛着が克服できるっていう研究も出ています。その方法としてはいい人に会うことだそうです。信用できる人に会うこと。それは先生であったりとか、あとは地域の人であったり、あとパートナー、結婚する相手でもあるそうです。そういった信用できる人、愛着の形成の対象となる人ができることで、今まで虐待など養育環境が優れなかった人たちも救われるという研究結果でも出ています。

なので、ぜひ皆さんもこういった理解頂きながら、地域の人としてとか、あとは会社の方としてとか、こういったさまざまな出会いのきっかけを頂けれ

ばな、そうすることで救われる子たちは多いのかな
と思っています。」

記念品贈呈

西野会長 上坂課長、ありがとうございました。上
坂課長の、今回はリクエストでギターが欲しいとい
うことでしたので、ギターをプレゼントしたいと思
います。

上坂課長 すいません、こちらの方のエレキギター
なんですけれども、一時保護所の子どもたちが演奏
するのに使わせて頂きたいと思っています。今、ド
ラムセットが実はあって、これでギターがあると、
子どもたち定期的にクリスマスなどの発表会をし
てますので、そこで演奏ができる。それがまた一時
保護所出た後の、彼らの依存できるものになってい
けばいいなと思っていますので、活用させていただきます。
ありがとうございます。」



■ 点鐘点鐘・閉会

東京臨海北斗RSC	坂本康朋議長
東京臨海東RC	今西 勇会長
東京臨海RC	佐藤大輔会長
東京臨海西RC	西野充英会長